

医療的ケア児等コーディネーター支援協会挨拶

2021年9月に医療的ケア児とその家族に対する支援に関する法律が施行されました。法施行により、潜在化していた様々な医療的ケア児の「育ちの支援」と「家族支援」の課題が浮き彫りになり、地域で様々な議論がなされていることと思います。

全国で活躍されていらっしゃる医療的ケア児等コーディネーターや多職種で構成される支援者の皆様、医療的ケア児支援センターを運営されている皆様におかれましては、「我が地域で、こどもと家族の在りたい生活をどのようにアセスメントし支援をしていくのか」「その為に地域を創る支援者の養成や連携をどのように展開していくのか」という事について、大きな課題意識をお持ちではないでしょうか。

当協会はこのような課題を支援者の皆様をはじめ全国の仲間と共考し、これからの医療的ケア児者への支援を様々な角度から共に学ぶ場の創出、全国規模でタイムリーに情報を共有をする機会の必要性を強く感じた仲間と設立いたしました。これまで地域でそれぞれ頑張っていた皆様の横つながりを創り、地域での支援活動にお役に立てればと思っております。ぜひ、設立記念研修にご参加いただき「本人ニーズから始まる地域創り」を共に考える機会になれば幸いです。

医療的ケア児等コーディネーター支援協会
会長 遠山 裕湖

(宮城県医療的ケア児等相談支援センターちるふぁ)

皆さん、こんにちは ふわりの戸枝です。

医療的ケア児等への支援については、ここ 5 年間目まぐるしく制度が変化してきました。中でも 2018 年頃より医療的ケア児等支援者及びコーディネーター研修が始まり、医療的ケア児等コーディネーターが誕生するようになりました。

また 2021 年度に制定された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」を受け、2022 年度より全国で、医療的ケア児等支援センターが続々と開設されています。しかし、支援者やコーディネーターの支援の内容は地域ごとに千差万別な状況です。支援センターも開設はされていますが、情報共有の場がなく、各県内で孤軍奮闘の日々が続いていることを漏れ聞いています。そのような状況の中、医療的ケア児等への支援者やセンター職員が集合し、情報交換や困難事例のケースワークなど実践の質を上げる支援を行う団体、つまり「支援者への支援」が必要ではないかと考えるようになりました。

私はこれまでは NPO 法人ふわりとして活動してきましたが、医療的ケア児者と家族に対する質の高い支援が全国どこに住んでいても受けられる未来を目標に、同じ志を持った有志と協会を立ち上げることとしました。9 月 11 日の研修は、今皆さんが最も知りたいことを盛り込んだセミナーを開催します。是非！ご参加ください。

研修共催者

NPO 法人 ふわり 理事長 戸枝陽基